

Aグループ
○やりたいこと

事業	時期	目的	人員	費用
ライドシェア	通年	千代野地区独自の周回マイクロバスやライドシェアの仕組み作り 高齢化に伴い、免許返納者や運転不安がある人が利用できる		
人財バンクセンター	通年	シルバー人材センター的な人材バンク制度を千代野地区独自に設立する シルバーに限らず、若い人も含め、誰でも登録できて、隙間時間の小遣い稼ぎができる制度 雪かきや重い荷物運搬など、高齢な方が困っていることを住民の若い人たちが助け合える、仕組みを創る ボランティアではなく、報酬制にする SNSを使って、タイムリーな情報共有ができるようにする		
防犯パトロールの定期化	月2回、不定日	安全、安心な住みよい環境の確保 西8丁目がやっている夜回りも参考にしてみては？		
ガレージセール	年1回	不用品のリサイクル、自家農園野菜など販売 どこかに集まるのではなく、自分の家の前に商品を並べる どこに何があるかなどの情報はSNS活用 千代野全体で一気にやると收拾がつかないので、町内ごとに順番にやっていく 離れた町会でほしいものがあつたときは届けるサービスも考える		
小さいイベント		町内サロンなどで交流を深める場		
町内対抗駅伝大会	年1回	健康促進		

○見直すべきこと

事業	理由	方法
社会体育大会	大がかりな大会だと運営者、参加者の負担が大きい	コンパクトにする 種目を減らし、やりたい競技が増えた場合は年ごとに変えればよい (無理に詰め込まない) 半日開催 やりたい競技をアンケートで募る
交通安全の見守り活動大幅縮小	活動が多すぎる割に効果が期待できない	
アメシロ防除(特に8月)	散布しない世帯の増加 ほとんど効果がない 8月は暑くて大変	時期、回数の見直し
盆踊りと千代野まつりの一体化	時期も近いし、共同開催にできるのでは？ 運営準備も大変ですし	一体化

Bグループ

○やりたいこと

事業	時期	目的
町内、町周辺のウォーキング大会の復活	年1回	世代間交流が出来る催しとして最適な事業
公衆電話の設置(今あるものを撤去しない)	通年	災害時には携帯電話はつながらない
前回実施した「ミニライブコンサート」を定期的 to 実施し、若い人たちを集めたい	通年	若者の参加を図る
企業が実施している「移動販売車」を利用し、集会所を利用して「物品販売・街カフェ・駄菓子屋」を実施	通年	住民の親睦(子どもから高齢者まで)
千代野まつりで「利き酒コーナー」「かき氷コーナー」「フリーマーケット」等を開催する	秋、年1回	多世代の交流、親睦を図る
防災キャンプ(防災食作りと「就寝」し、電気、水の無い生活を体験してみる)	年1回	通常の生活のありがたみを知る、避難時の大変さを知る
避難所ごとの実際の運営(模擬訓練)	年1回	災害時の避難所の大変さを学ぶ

○見直すべきこと

事業	理由	方法
形骸化した防災訓練の見直し	毎年同じ内容での防災訓練では真実味がない	内容を変えて実施する
千代野まつりと盆踊りを一本化する	事業に参加する人の負担が大きすぎる	事業を統合するか、開催間隔を広げる
側溝掃除の意味は何か?	高齢化で重い蓋が開けられなくなっているのにやる意味は何か?	
福祉フェスティバル参加者が多すぎるため一考が必要	高齢者が多くなり、また高齢者が高齢者のお世話をすることになっている	参加年齢を2年に1歳ずつ引き上げる
高齢化に対応した制度・事業設計がすべてに必要	40数年前と同じ企画、内容では負担が大きい	
防災二次避難場所(避難所)の充実が圧倒的に不足		
空き家が増加し手入れされていない		
実施されている事業の内容を若者が参加できる内容に変える		
子供が参加しての「防犯訓練」を実施する		

※まとめ

現在ある「事業」をなくすのではなく、今ある事業に「若者が興味を持っているイベント」を同時開催し千代野の「事業」に若者を呼び込む

Cグループ
○やりたいこと

事業	時期	目的	人員	費用
千代野御朱印集め	春か秋	千代野全体に配置した御朱印の地図を貰い、集める 千代野の良さを感じる	30人	5万
ロゲイニング PTAに協力を働きかける クイズは、大学生に協力を依頼	春か秋	千代野全体を謎解きをしながら歩く事で、思わぬ発見と出会う	30人	5万
中央公園改修 (バスケットボール練習場所)		若年層交流		5000万
防災訓練及び人命救助・AED講習		防災対策	各町会	各1万
千代野ペットフェスタ 中央公園にドッグラン・マナー講習 ペット・参加者の健康チェック	春か秋	千代野のブランディング 新しい人材の糾合 ペットのマナー向上	10人	300万
いちよう大通りクリーン作戦	11月	街の美化		10万
高齢者と若い世代の交流の場をもうける		高齢者と若い世代の交流 →地域防災	各町会	各町会

○見直すべきこと

事業	理由	方法
千代野祭りと盆踊りの一本化	高齢化による事業の簡素化	見直し
ペタンクとカローリング大会の中止	ベース人口が少ない	中止
交通安全街頭指導・見守り隊・PTA等が連携し効率よくする	関係団体が協力する	見直し
アメシロ駆除	高額で効果に疑問	中止

Dグループ

○やりたいこと

事業	時期	目的・内容	人員	費用
楽しく学ぼう！交通安全(世代間交流)	通年	近頃の交通マナーが悪いことを受けて、ゲームや体験を通した啓発活動をする		
シルバー人材づくりプロジェクト	通年	元気なシニア世代対象の活躍の場づくりと生きがいがづくり支援		
誰でも身近にSDGs！	通年	SDGsについての学びと実習		
空き家の活用(オープンショップ、カフェ、アート教室)	通年	空き家をリノベーションし、出会いや交流・文化発信の場を作る		

※人員や費用については話し合えなかった

○見直すべきこと(地域活動を継続していくために)

事業	理由	方法
各種団体の活動や地域事業	人員とコスト削減のため	内容の偏りを防ぐため、まずは考え方から整理していく
町内会運営	高齢化・無関心	必要性を理解してもらうために何かする。(若者に権利権限を与えとか)
体育事業	楽しくない、参加者はいつも同じ	まずは趣旨や目的から考えてみる

Eグループ
○やりたいこと

事業	時期	目的	人員	費用
ミニライブ・ダンス発表会	定期的	若い世代の参加を促進		5万円／回 ×4回 クラウドファンディング、投げ銭
フリーマーケット		文化祭に出展されているような手芸品や園芸品、作品などの販売やガレージセール的な販売		
保護猫・犬の譲渡会				
イチョウの伐採				

○見直すべきこと

事業	理由	方法
スポーツ大会・スポレク大会をやめる	参加者が少ない 興味のある行事ではない	クラブがあるスポーツ大会はクラブが自主運営 参加者が少ない大会は廃止する 参加者を増やす手段を検討(千代野以外からの参加者募集や、情報周知の強化)
アメシロ防除をやめる	散布不要のお宅が多い 600円／軒は無駄 効果が小さい	自宅の防除は自分で行うまたは、取りまとめて業者に依頼する
まつり等の隔年化		

Fグループ

○やりたいこと

事業	時期	目的	人員	費用
ウォーキング(「朝がゆ」のような飲食付き)	秋、年1回	住民の親睦	30人	10万円
防災体制整備、高齢者等の見守り体制整備	通年	安全安心の確保		
環境美化のネットワーク構築	通年	住みよい環境の確保		
公民館まつり、千代野校下イベント	年1回	住民の親睦(子どもから高齢者まで)		
野菜作り教室	春・秋、年2回	生きがいつくり、親睦	10人	5万円

○見直すべきこと

事業	理由	方法
千代野まつり、盆踊り	まつりをもっと盛大にやりたい 2つのイベントの間隔が近く、運営者、参加者の負担が大きい	まつりのプログラムの変更(昼の部、夜の部) キリコ等巡行時のおまつり天国イベント検討 まつりと盆踊りの同日開催 開催時期の見直し
交通安全協会・防犯協会の連携強化、セーフティネット、各種団体役員選定方法	安全安心のための連携強化と効率化	交通安全協会、防犯協会、見守り隊の活動一本化
アメシロ防除	散布しない世帯の増加 ほとんど効果がない	廃止
高齢者福祉フェスティバルと福祉フェスティバル	同じような内容で年2回は必要ないのではないか	主催者が違うのでまず話し合い